細かすぎてごめんね! 虫眼鏡必須!

ラジヲのぶらり西東京さんぽ

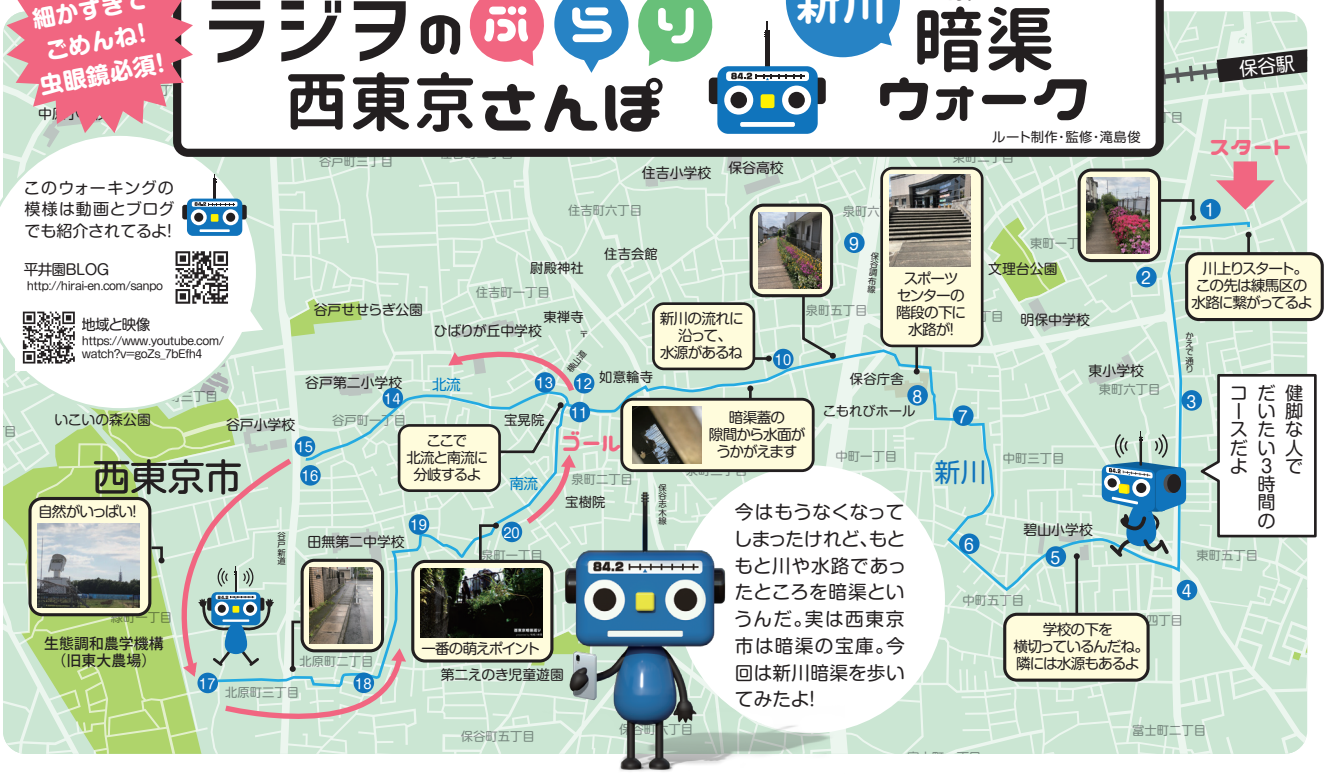
新川 暗渠(あんきょ)ウォーク

ルート制作・監修・滝島俊

このウォーキングの模様は動画とブログでも紹介されてるよ!

平井園BLOG
http://hirai-en.com/sanpo

地域と映像
https://www.youtube.com/watch?v=go2s_7bEfh4



1 つなぎの排水路

ここを整備し、練馬側の排水路へ接続することにより、天神山エリアの排水を行いました。

2 民俗学博物館発祥の地

渋沢敬三や高橋文太郎により、日本初の屋外型民族学博物館が建てられました。ここも度々浸水に悩まされました。

写真:民俗学博物館のリーフレット

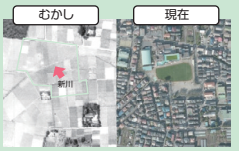
3 かえで通り沿いの排水路(暗渠)

新川の流末を練馬区側に流すため、かえで通りに沿って、つなぎの排水路に接続する暗渠(後に管渠)を整備しました。

4 元の新川の流末⇒③へ接続

元々新川はこのあたりで消滅していました。増水時には周辺を浸水させていました。

5 碧山小学校を横切る新川



管渠として校庭を横切っています。

地図:国土地理院の Web サービスより加工

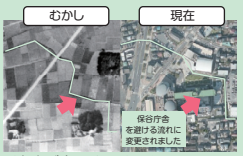
6 碧山バイパス分岐点

天神山付近への流水量を軽減するため、この地点で流れを分水し、東伏見北口側のけやき通りにつなぐバイパスが作られました。

7 西東京中町第一水源

市内19カ所ある東京都水道局管轄の地下水汲み上げ水源の一つ。西東京市の水道は、河川水と地下水のブレンドとの事です。

8 保谷市庁舎建設による水路架け替え



流路が変更されました。

地図:国土地理院の Web サービスより加工

9 ビルマ住宅の浸水

昭和33年9月に襲来した狩野川台風の大雨により、現在の泉町6丁目付近にあった都営住宅(通称ビルマ住宅)が床上浸水しました。

写真:西東京市市役所蔵

10 西東京泉町水源

市内19カ所ある東京都水道局管轄の地下水汲み上げ水源の一つ。西東京市の水道は、河川水と地下水のブレンドとの事です。

11 新川北流、新川南流合流地点

写真左側が南流、右側が北流で、この地点で合流していました。ここ周辺は湧水地で、右手にはマツバ池がありました。

12 マツバ池(纏場/的場池)跡地

如意輪寺西側裏手の横山道との間に「マツバ池」と呼ばれる湧水池がありました。2ヶ所あり、北側の方が大きい池となったため「大マツバ」、小さい方は「小マツバ」と呼ばれていました。

写真:保谷市史

13 駒止橋

新川が横山道を横切る場所に架けられていた橋を「駒止橋」と呼んでいました。昔石橋が架けられており、石橋供養塔も傍らにあったそうです。

14 ツルマの弁天池跡地

昔、この付近に弁天堂がある池があったそうです。現在はその痕跡は残っていませんが、白蛇伝説などの伝聞が残されています。

写真:GoogoleMap より切り出し

15 新川北流源流地

新川北流の最上流地点で、谷戸新道に突き当たって終了しています。谷戸小、東大農場付近からの湧水がこの地点付近から流れ出したものと思われます。

16 野分初稲荷(やぶそめいなり)/白山神社(はくさんじんじゃ)

田無の始まりはここ谷戸周辺と言われています。古くから祀られていた野分初稲荷は田無神社に合祀されていますが、白山神社と共に、分祀されて戻ってきているようです。

17 新川南流の源流地の一つ

東大農場付近からの流れを集めて流れ出した流路と思われます。現在流れは確認できません。

18 新川南流田無エリア

ここの流れは直線的で、自然な流路とは思えないため、人工的な排水路であったのではないかと思われます。

19 新川南流源流地の一つ

旧保谷市エリアでの新川南流の源流地。緑のシートが被されている所が、かつて「エドジマ」と呼ばれていた沼地で、現在もその面影が残っています。

20 新川唯一の開渠域

この約115mが新川唯一の開渠部です。現在流れはありません。

※個人宅ですので敷地内には入らないようお願いいたします